

## 泌尿器科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

### 記

研究課題名	泌尿器腫瘍（腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、後腹膜）の臨床病理学的検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇学
担当科等	泌尿器科
研究責任者	（職名）教授 （氏名）佐々 直人
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科 准教授 加藤真史
研究の意義・目的	過去に手術、生検により採取された泌尿器腫瘍（腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、後腹膜）の摘出標本プレパラートを再度、病理学的な評価を行い、再解析し、予後および再発予測因子を解明することが本研究の目的としています。
対象となる患者さん	倫理委員会承認日から 2022 年 1 月 31 日までに泌尿器腫瘍と診断された患者さん
研究の方法	愛知医科大学病院、名古屋大学泌尿器科及び関連施設における過去 30 年に手術治療、薬物治療をうけた泌尿器腫瘍患者を対象とする研究です。 すでに手術、生検により採取された泌尿器腫瘍（腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、後腹膜）の摘出標本プレパラートを再度、病理学的診断を行い、あらたな病理学的な予後予測因子の確立を試みます。 各施設データベースから、適格基準を満たす患者を集積し、web 上での、研究の公開を行い、研究の目的、方法、有用性を周知します。過去の手術、生検により採取された泌尿器腫瘍（腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、後腹膜）の摘出標本プレパラートを利用し検討します。標本は愛知医科大学または名古屋大学に送付され、共同研究者と共に本学および名古屋大学で評価します。同一病理医（愛知医科大学病院病理診断科教授都築豊徳）により、再評価し、統一した病理評価での予後予測因子を解明します。 連結可能匿名化した、臨床情報と照らし合わせ、生存および再発に与える因子を検討し、解析をします。

研究期間	倫理審査承認日 ~ 2027年2月28日
研究に用いる試料・情報	<p>試料：病理材料（対象臓器名；手術、生検により採取された泌尿器腫瘍（腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、後腹膜）の摘出標本プレパラート）</p> <p>利用目的：同一病理医により病理再評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記材料の採取期間</li> </ul> <p>過去の摘出標本を利用する。実施承認日から2022年1月31日まで。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存試料；手術、生検により採取された泌尿器腫瘍（腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、後腹膜）の摘出標本プレパラート</li> </ul> <p>情報：カルテから転記する</p> <p>性別、年齢（生年月）、体重、既往歴、合併症、主訴、生活歴（喫煙）、職業、初診日、血液検査、尿検査、画像検査、手術治療の内容、薬物治療の内容、再発確認日、転帰など</p>
外部への試料・情報の提供	<p>外部提供先：名古屋大学医学部泌尿器科</p> <p>匿名化された状態で、研究者が外部に持参し、提供します。</p>
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	<p>本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。</p>
問い合わせ先	<p>愛知医科大学</p> <p>医学部泌尿器科学講座</p> <p>担当者：（職名）教授（氏名）佐々直人</p> <p>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1</p> <p>電話 0561-62-3311（内線 22145）</p>